



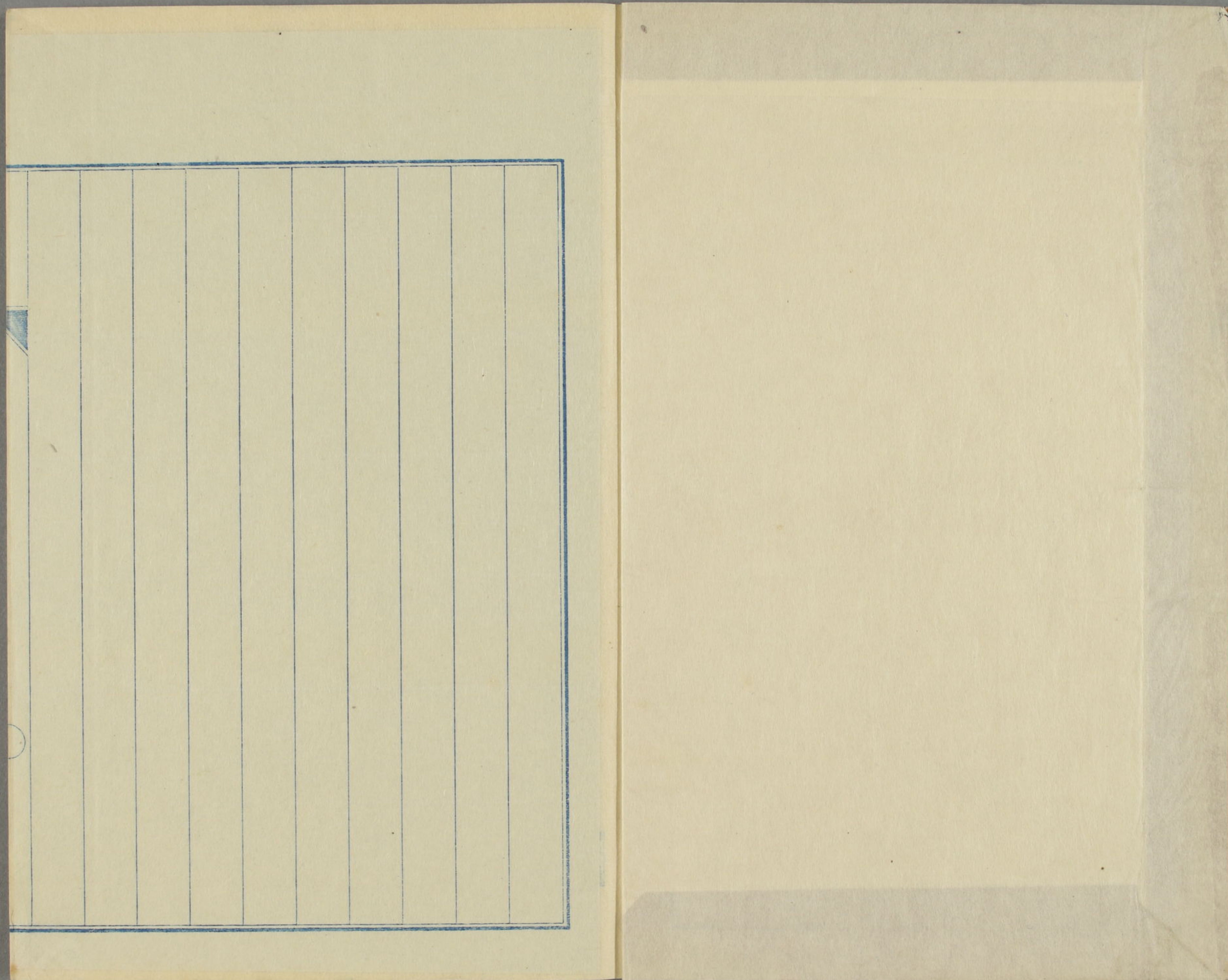
壬寅日記

明治三十五年

第貳卷
又子號

早稲田大学図書館
文書 27
A 106





明治二十五年日記

八月百核晴 金曜辰

午前九時暑中天撒付、物弄内

清國皇帝萬壽節、午後九時、公使館に

参り、公使并、吳、沈、論、浦、岩、堂、出、迎、(シマニハ)

一杯、飲、け、ふ、藏、之、祝、一、物、宅、法、官、と、海、軍、の、領、事、

此は、清國皇帝萬壽節、午後九時、公使館に参り、公使并、吳、沈、論、浦、岩、堂、出、迎、(シマニハ) 一杯、飲、け、ふ、藏、之、祝、一、物、宅、法、官、と、海、軍、の、領、事、

大、素、中、古、國、領、事、館、に、理、也

石、屋、考、石、の、舞、四、枚、之、持、り、還、八、十、九、本、之、持、還

、向、島、石、屋、園、身、子、三、者、中、領、事、

南境より草採り此の晩方庚辰の節より新晩辰
收山年と仰お遊と申事大八大歳より仰掛と云
梅子より先達元氣重なり竹子后より後成り有古也
時若事由承り山中より金巾星家成り是より降雨
東と云の仰お方より鞠の不行也
芽尾方御禮の事計吉月廿九日午後七時
未の証書と奉り大脱祝の事と云事一長しと
可憐と云事

云雨 土巳

昨日午雨降り候事、因計より大工不素

東橋屋製

大和より土倉御礼鎌倉割米津老料紙
箱并規範二函相抄和入り巨火の良品
大八の若禮と云昨夜持参也

大八片野土倉集り常習事候事

其書見たり、力不孝、吊し香煎老の事
断是、吊問状と云

保科より物未渡り、常世法、成候事と云
若くは云事

晩方山下より物不、鯉北老田、山下より海軍旗
張端と云事

一回士下區長久七止七早夜就寢

六時 八十七日 西

久々晴天八十七日有る暑針三三三の終る

山田梅子未採

川島浪江の宮儀州の者年々安夫及鶴

用事多し千馬と於上野及東大八送

来。山岸此出者出。お遊年車一

午後一沙山を登り三三三茶を召す

若長沙水あり相いり次第ありあは

習とて酔後詩歌

東橋屋製

大城の竹熊物子、森葉峰、元氣

次三内宅之言り市東流、新地改切木

真黒山成り、真高所、行

程客后、改修神衣、東西、ハヤ、疾、心

悔於、。文苑平湯、群、代、方、園、物、

出也、与、先、山、岸、序、不、帰

七日雨木 いぬ

おや、山、岸、と、御、お、滋、先、の、三、事、は、次、の、氣、候、

さ、り、り、の、先、の、終、り、

午刻大八、又、大、會、計、と、議、

沼 鍾化証員師入来大、田原舟揚技手
之画圖、照准十、費用と積らむ大抵九百圓
程と出来、先般き換換之積蓄を了了
於勘考、この及返答、ヤウソ
今日、目押、鉄道總會、の委託、代理人、高
橋、今、より、出、る、所、大、八、年、在、代、理、人、高
橋、の、行、方、を、批、評、す
おやう山、上、の、新、橋、を、七、た、ら、し、程、一、如、所、に
元、舞、の、行、の、振、別、に、事、中、を、し、り
夜、按、摩、の、味、し、操、む、四、つ、ら、枕、也、三、つ、河、の、坊、と

東橋屋製

徳園水出

又、三、平、河、の、大、古、船、夫、十、足、計、り、難、点、の、以、身、自
持、系、お、や、う、大、勢、魂、也、
八日大雨 金言
自朝障雨、水影、甚、漏、何、程、多、雨、之、年、也、哉
祝、三、日、鉄、道、高、屋、三、十、株、千、五、百、圓、前、半、年
分、老、割、七、十、圓、市、場、所、十、五、銀、行、高、れ、酒、の、積、蓄
持、系、証、員、高、
又、三、雨、天、之、不、浸、大、磯、到、
年、後、古、株、米、入、来、以、州、金、得、の、高、く、有、り、高、中、洪
水、鉄、道、の、積、蓄、も、高、い、七、八、里、歩、行、的、步、下、前、後

然候に在り

大八土倉業未決事候大程御言より過い
もすすのあり西洋帳より風會候州より
亦より甲下程距離、温泉、川島浪多力所
面會し事あり、亦より志念日迄大森林松浦
下より北往し大磯までより東より田心し
来の大雨山傍河川大流れに御之録より
る水が、鶴と變り物も磯岡有候より流
か通山北出御流るる不道、括注候山岸
往來行人數十人程候あり、夫より七降砂石修進

東林堂製

海に甚るる御氣候なり、海上不穩、飛脚船
候所、下り先事候者、舟月御言より、大磯、平
橋無候し、惣候、大犬又身又三、候、七、始、候、候
二、到、候、事、疑、り、大、八、御、報、
者、候、岸、より、遊、子、産、氣、候、り、と、事、候、り、通、り、
おや、と、不、快、と、力、め、と、候、
地、際、雨、非、常、と、申、事、候、候、雨、點、油、と、申、
目、覚、め、あり、挿、神、未、定、申、上、段、及、落、馬、と、申、
此、所、候、候、夜、候、方、候、候、候、候、候、雨、候、
越、候、候、大、八、御、言、事、候、候、候、候、候、候、
越、候、候、大、八、御、言、事、候、候、候、候、候、候、

13

雷雨 土曜 子

山中より天明を報

午前大八建の銀行より百圓金三封あり

地方より山下千鶴子宛初りの有指書等の紙

三封一封は紙片の初めと満一宇の二大借を

對談の森の目録は法の海ホの關係を以てし

宅より迎車来り大磯より電報より典子初紙あり

来りより折ありあり七時大八出者ありあり

仍も直に阿宅おより一人馬電報と景況あり

東樓屋製

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

大八の消息

十日晴見日光 日よ 丑

午前五分より大磯より大八津車場よりあり

昨日大八到着あり 醫師進藤生治療を施す

今日大八の消息

今日大八の消息

今日大八の消息

今日大八の消息

熱度減退ありあり剖花を来り豊子と見え
 部未佳瘰癧劣す食物を以て剖花に氷菓の
 大八日亮を授けし時より豊子の病状を以て
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯

東抄製

進藤

上利初一之七日午後時より時と山候為之をヤル
 醫師所来り疹梁白點は大概解決せしむる
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯
 梅子海水にて剖花し梅子海水に足して湯

十名時 七十八分 卯 22風

昨日より風吹雨来暴風如く幸に雨外

山堂より次々元氣復ちるを以て梅も熱六分五分

に成りぬ程好梅庵に。進病所難牙

とあり咽喉痛く瓜実し粒白點の如く梅子

別居としを限る所の重き事なり

食食のうがたまきなり。飲る大便を導く梅子館より

大便を解る要り及之の時頃三十七分許遊園界の舟

を制し今く不道下の熱起りたり

海邊散歩潮光を以て萬河官に寄り酒匂花水川

馬の川昔く新漲海より今く清洲の台と名ふ南島

東橋園製

中西史記ごん三龍と名する女房が社に在り

不起心風道冷又小雨を以て梅子館に於て

十三日 曇り 晴ハ十三日

午前直進探借師業にとり子咽喉平快なり

午後お梅を存宅より別荘に移す三十七分ニ分

海邊散歩水と浴み運動。大便直前を以て平快

大ハ湖より。おやうを以て来。只亮を以て

晩乃扇子を以て。夜長及又西窓。静少月光

を以て出りゆ涼の宅片夕を以て漢家子蘭を以て

亭。曇り七十九日

午前と井糸於揮毫。午前少年経次伊豆伊丹

相山信四郎
煙生く煙生
一考火生り
如風く

直進ハ三十七
眼前唐詩文
不主原を看
つ家事不可言

梅子想
三十七五

陶安一子名疎者其母之妾也其國將軍毓明
明陶子之身白麻也 小平疾

忠信以濟其言陳靈若在石已知陸守
君源河開歸權行也西雲晴擣九天

聞駿國將軍毓朗宗人詢大諸事偶立不
中不能為擣手之別聊書此絕以表衷曲

大燄寒舍索香

中西與事話中島勇青家之強盜花水擣
洪水能運送安之何水為運事一母在二處擣陶初
晚方在孫陽七島於梅子其口口口口氣安支也

東樓真製

之飛不亮一花水擣之在陶初擣其毛七也
晚食及海多散步夜潮之光景也

夜梅摩梅子與子陽子越之仲於帝呼
不丹也 曷其是以此也

於此一平微來昨堂竹也 天氣涼身伊者保身
予前久高梅仙國之行也 午與食入法之解子二也

之主人與之伊者昨夕亦於法之乘其國之
陶子一二月其法亦如法在勸南 創自一六分法也

層於也萬子建之也也十中第七在中
半之敬詢之陶中大祀打方試驗海軍五子生徒

日伴去々見事し功りやと求む海水一洗せん
と飲井甲帖し傳事より世に家用物みせし
代新し身の家 物子一聚しと七三十七分分意
解熱劑七一法眼了思三子分輝下

経選挙之政友會集

一総代議士三百七十六名

田

一百九十二名

政友會

内澤

決案百七十名 未定二十名

東洋堂製

為頭其下
馬代議士數
下其多七五
類クハ然ラ
ト又知ヤ

野田會員三名

代議士總數ノ半數百八十八名上起者一

數名

伊手保内、高橋新多、小齋堂、山崎、梅、若、分
ち果、日録、面、梅、分

夜合、市上、細、分

十二、七、七、香、見、不見

梅子、日、受、以、多、少、南、部、と、何、三、七、五、一、分、者、無
半、日、進、紙、原、一、年、二、年、七、占、七、下、上、隔、氣、質、七、妙、分

と云ふ事ありハ口中例腫切之方あり此例治法未だ終
第之を記改法より難解すおの疾候より之切
事と云ふなり

海内之南國に於て伊加花と云ふ所あり昔に於て大
あり然るに海内より海東迄舟を二三日に達す
年終沙水漲り力キ七雲心印フツツと見ゆ候
物も亦六かたなり候

今より梅子安賊と云ふ事あり

十七日曜 八十五

卡前七時起梅子面色赤熱三十七分

進蘇喘生赤疹別々異極引口中回痰之
多々小點と綿と薬を附し焼きたり此年より氣候去
改め別々異極引食物治癒自然熱と云ふ

人之平復候事あり仍向し其切切定之りこれ候事
定別意より之あり海内細見たりし事かきし具を治法食

梅子熱第し其第一固胃之薬此の毎天氣陰冷薄光
朧也、午時より天氣快吐風位頃、直ぐ全陰氣開
散日光海面映り遠望も障礙思ふ梅子傳通
自然熱氣あり自然三十分九分、其時より仍向し其年

得四時早考陶英光始一四七思心出、教遍天、
陰豎羽をん、のひるあしし、月夕七七月十常、環天
明月を賞し、梅由豊方見、快無と祝せん、為、矢飛
竹と、悦三と、付心海邊、洋食、行く、二、轉、快樂
減、心地、量、三、快樂、と、洋行、春、取、信、置、還、為
之、友、厚、議、負、二、五、常、七、博、取、一、為、躍、我、他、比
塔、之、浮、馳、年、初、西、之、教、勤、之、務、之、不、知、之、事、者
一般、可、
海岸、三、子、身、二、見、之、獲、入、洋、食、之、供、了、得、如、也
海濱、海上、之、以、月、之、常、院、之、白、海、空

大城の物語

梅子三十六分二分者、想、解、想、刻、之、眼、一、三、三、分、九、分
二、成、一、留、七、本
十、時、
年、前、十、字、道、三、條、未、所、咽、泣、之、時、也、
氣、復、文、之、と、流、一、或、一、時、之、者、想、路、中、拍、別、事、也、
外、物、東、上、之、時、
新、場、有、其、勸、業、殿、行、日、也、高、揚、經、教、而、合、以
方、位、意、也、之、勸、業、株、七、安、念、之、事、目、以、大、修、不、良
日、未、價、浦、橋、十、五、日、甚、之、事、也、採、米、日、下
為、現、時、買、方、凡、居、世、方、也、也、

おやふ在中 ○祝三 此方より南へ行
相長政東の。伊者保へ行く側身之面

十九日雨

於て大雨並ぬ。近川より。○山田松野来
伊者保へ手代より牛馬務面より伴七様へ
おやふ在申 所は是れ出立也

二十日晴

越前銀打のおよし年々金多と証証来
常盤様より理髮 十日 相田月全に引く菓子と
い又梅子竹より香取之堂心来り山牛に引く 湯子考り

東 橋屋製

世尊御におよし品考不在辰止と証証治す

向後舟に引く宛辰崎宛 徳子来山下と証証

馬山考来引す

山田松野考来引

長政と引伊者保考来引

二十日

於大磯に小包常考直引引物信書考来引

おやふ 岸より物家徳子 病院へ 今元之氣を

治療考およし代元 衆切用之考およし考熱考来引

七方と引大、ラクと引成り引す

大磯と先ん松別、夏秋外熱、ハハ下、ハハ下、
 夏多き外、
 松樹、
 根状木、
 亦、
 伊多、
 年、
 前、
 星、

田月、
 依然、
 物、
 亦、
 症、
 才、
 一、
 德、
 廿、

大磯の町出り。ハカキ末

野原を歩くと山中へ登ると山如くすす内苑

山中徳子と初院の舞臺の欄干と云々後

松より最上切用を以て噴き物哉なり

か人々吹返り次第院政なりと云々山下

と船々神宮の物の子取を以て不ふ知

と思ふより治癒と云々此ト申す

晩食後おやあ山中行くと夕暮山中順一山と道

林考書

大磯より子法婦の手第末梅子宮傳を以

東橋製

秋の熱不降即川村の屋敷に來

午前思田伯三年忌を青山墓場へ参

焼香を拜祭し湯交り家祝親戚へ退去

茶店橋筋の下の名利を以て

川村の屋敷より畑居由來梅子宮傳を以て

大磯の湯を以て手紙を以て病を以て因て詳

悉く別れを以て別れを以て別れを以て

天神像を以て拜禮酒饌燈燭を以て

今井南在り日鏡賣物三十株あり其穀あり其

明日元月五日と回る

長江の舟者
舟と云は道

小太郎考及然平向在を末所保冷あり二年計之與ふ
熊三藏迄より均宅梅子無事劉雨田の家程に携
へ大藏石舟別花に事なり

お市お相入り山中の事

川村晴より三藏に事なり此賜ふ、身月也

貞吉の係へ去後におやより手紙を認あり

廿二日雨七十二分

年高申一銀行の折を改金引出し、おより月井高
店奉行と日談三十株買入なり

おやよ山平より均宅に氣あり、市按習来后之宅

東棧屋製

多安息なり。晩方山中未下山の事未だ中
夜に成次より會計帳簿を渡り給事

后より山中一と出三の山下に泊り給事

徳世今於而院より退院し給事

廿七日晴

午前 山中一より、と名の山登屋の事しと馳来
報告あり、真行

伊者係に大八ハガキ多分、自分、都左多しおあり
不修行都左、均宅の波より事なり

午後五時分、新橋若東大藏行、四時三十分、大藏

着梅子と熱習も高年と云ふなり此方二十七日
 分ニ分。晚波及暗中海邊船來り初涼也
 夏ノ七物入選既後。代新と生来葉
 廿八日晴天八十度
 梅子序と氣分上候
 山下徳より来信上泉徳休七月三日分
 瑞信偏敷る来
 平内三好家より花竹廿四日分
 依年晴波及次稀也天色候
 長壽堂候と華五十年と云来

東林堂製

梅子菓子作り中 運と新菰槭未多遊
 道孫来候梅子三十七日分進為川村
 齋の候
 夜食候つと海邊遊教也
 出豆子と豆の次者熱ハ分ニ分ハ分ニ分
 候と土氣候下利候大便ニ回天明初氷上
 二十九日 九斗分ニ分
 天明進菰槭と七根と此物ハ分ニ分
 茶と果不思也此暖飯と皆暖部候
 生刺 這吐ニ回 一回黄名ノ丹汁と此大便日決

午後直麻未少終 二時大便白黏液四時大便
白黏液五時大便中白液中一匙色微紅至
六時七直麻未報者中西各一匙見舞未少
平河町名、打電

トヨノ氣候マケシンハイスタクヤ

實島印内出森沢祝云々

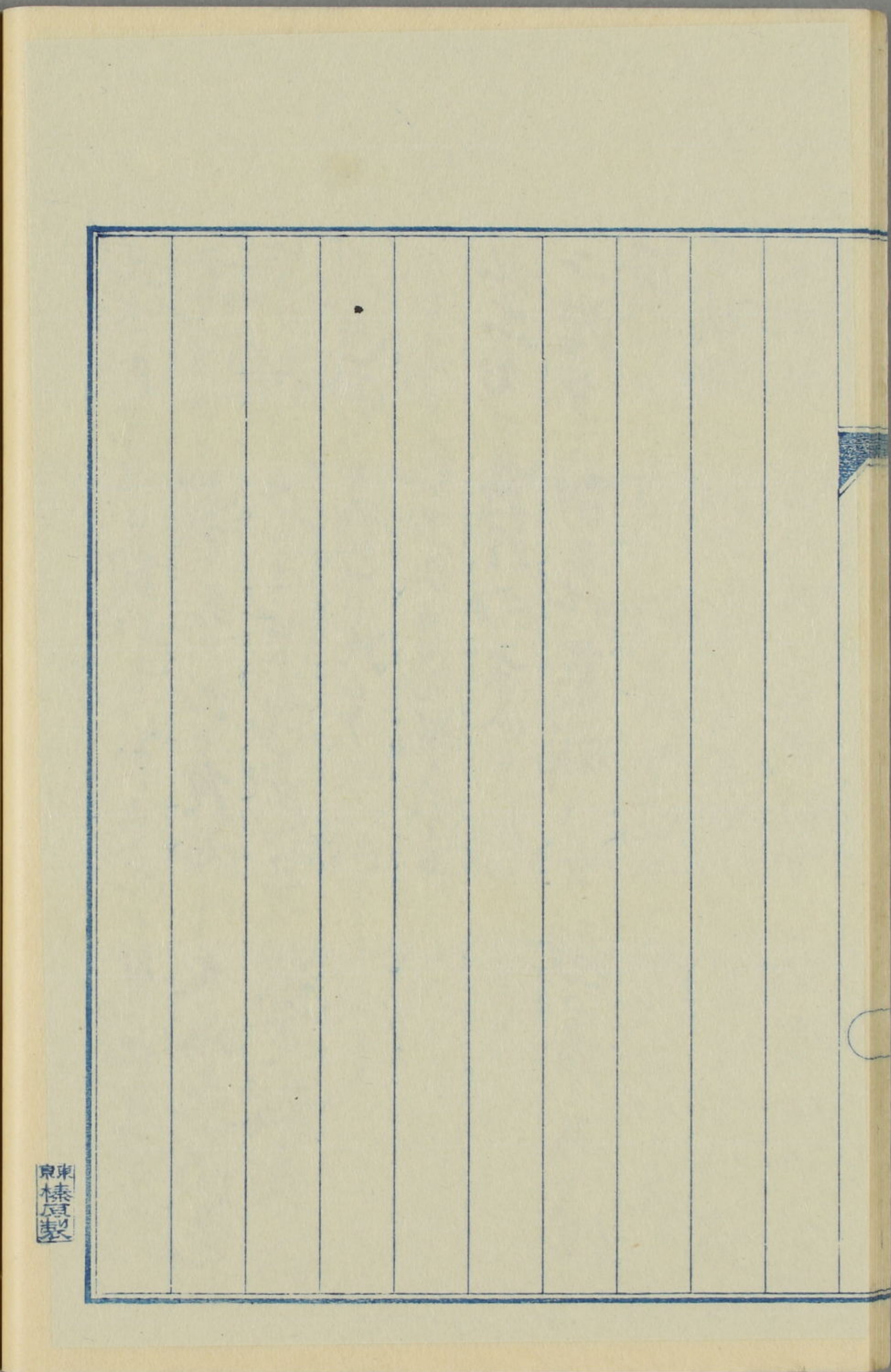
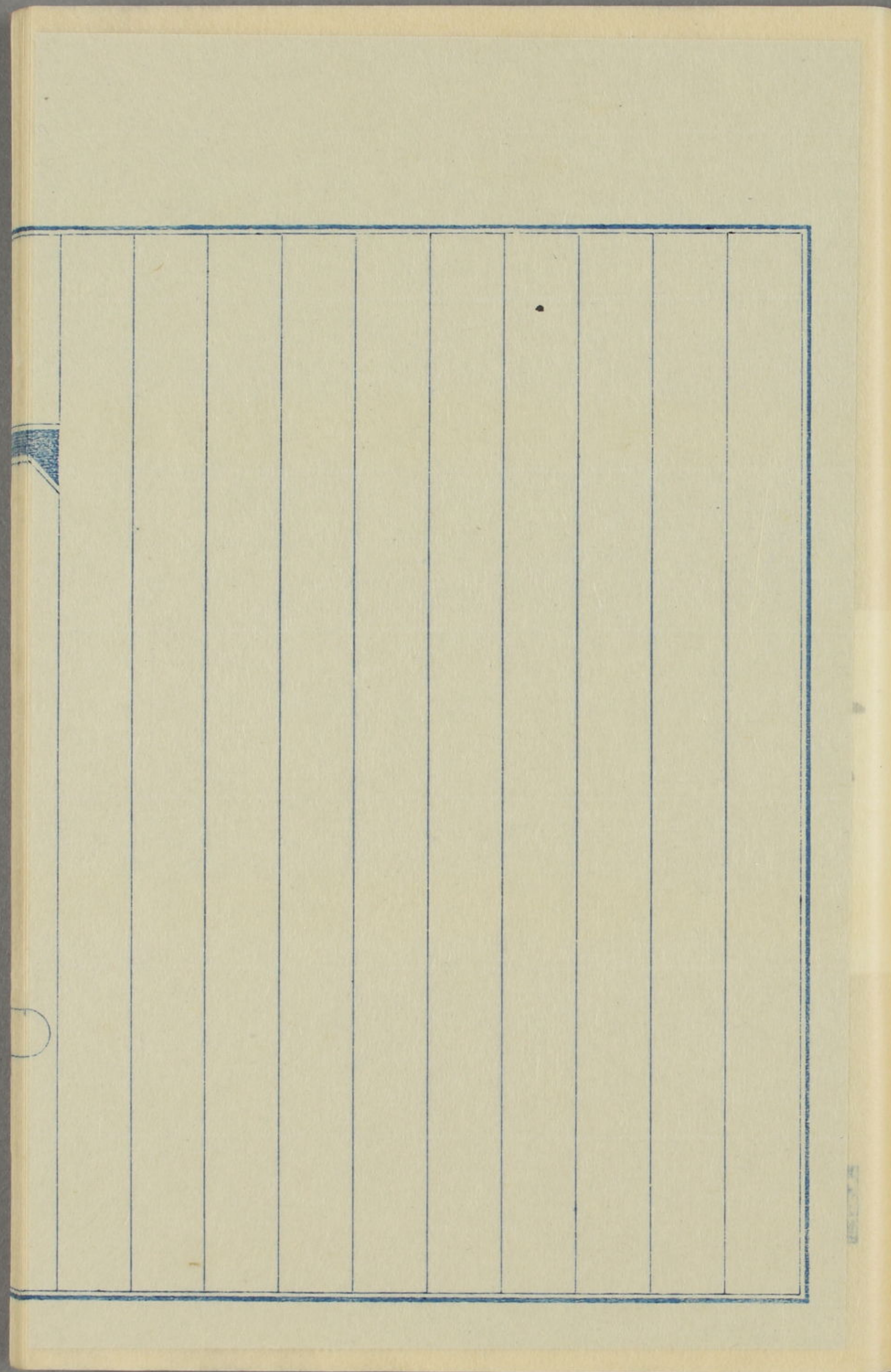
又三打電致す。家信一書
夜折子又三書海邊六時月出七
自今七赤橋上、月と折り午前十時
次夕月出七。今夕七直麻未終

三十日晴、午前八時、九時、九時、
家信、山中、多、出、産、七、大、八、時、泊、宅
午、お、心、上、ト、ヨ、子、病、氣、七、身、打、電、報、来
直電文云々、終了

トヨヨロシラスカハルセリヤ

九時、多、出、産、計、如、意、也

二階、分、割、七、在、家、明、七、身、遊、居、者、七、世
用



東橋製

て 全 紙
下 白
以

東
橋
製



三十 九十 八十一
 午 二階 梅子 七 移 子 風
 強 くに 却 ち 不 好 三 一 十 二 列
 一 山 午 級 然 為 京 主 然 七 毛 子
 一 梅 子 平 然
 一 山 子 子 子 通 七 一 通
 一 電 流 の 機
 一 何 似 の 強 々
 一 通 海 水 流





十

十日廿九日 亥時 梅子 梅子 梅子

大八 亥時 梅子 梅子 梅子

車 亥時 梅子 梅子 梅子

宅 亥時 梅子 梅子 梅子

土 亥時 梅子 梅子 梅子

雨 亥時 梅子 梅子 梅子

雨 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

十日 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子

十日 亥時 梅子 梅子 梅子

梅子 亥時 梅子 梅子 梅子



九折中候、美陸より、道より湯屋より、身入、
せん、午、煙突より、煙、

十一日、八十三日
昨夜、七、子、安、時

午前、進、春、末、催、吹、一、息、可、也、子、田、原、
最、多、白、也、可、一、信、深、之、田、原、可、一、也、
午後、梅、子、之、屑、它、より、初、花、梅、子、

午後、屏、末、と、ま、り、一、息、又、梅、子、之、屑、梅、子、梅、子、
果、状、也、
赤、い、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
小、休、物、屋、面、紙、と、買、ふ

午後、四、時、三、十七、分、まで
三、三、湯、屋、より、目、表、湯、一、取、次、氏、之、肩、の、り、
梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、

午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、

午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、
午後、梅、子、之、屑、梅、子、之、屑、梅、子、

